

河川整備計画に寄せられたご意見

大和川水系(平城圏域)河川整備計画

平成14年5月

大和川水系(平城圏域)河川整備計画を策定するにあたり、
学識経験者や住民の方々から寄せられたご意見を項目別に分類し、
整理をおこないました。

〈学識経験者からの意見〉

学識経験者からの意見を聴くために、奈良県河川整備委員会を開きました。

- 第6回 (H13.9月下旬)
- 第7回 (H13.10.15)
- 第8回 (H13.11.15)
- 第9回 (H14. 1.31)
- 第10回(H14. 3. 9)
- 第11回(H14. 4.18)
- 第12回(H14. 5. 7)

〈住民からの意見〉

住民からの意見を聴くために、流域懇談会・川づくり懇談会を開催し、
新聞広告などによりFAX・電子メール・郵便により意見を募集しました。

○流域懇談会の開催

(H13.11.10 奈良県経済倶楽部 地域代表者、水利・漁業の代表者 22人)

○川づくり懇談会の開催

第1回(H13.10.27 大和郡山市庁 参加約50人)

第2回(H13.10.28 奈良商工会議所 参加約50人)

第3回(H13.11.11 天理市立櫛本小学校 参加約20人)

○文章により寄せられた意見

提出手段	提出数
FAX	15 通
電子メール	8 通
郵便	11 通
合計	34 通

目次

- 1.河川整備計画の策定手続きについて
- 2.河川整備計画全体について
- 3.洪水による災害発生の防止又は軽減について
- 4.河川の適正な利用について
- 5.河川環境の整備と保全
 - <水がきれいな川づくり>
 - <多様な生物が生息できる川づくり>
 - <人々が水辺に親しめる川づくり>
- 6.地域と一体となった川づくり
 - <川について様々な情報の発信>
 - <住民参加型川づくり>
- 7.各河川の目標等について
 - (1)佐保川
 - (2)菰川
 - (3)菩提川
 - (4)岩井川
 - (5)能登川
 - (6)秋篠川
 - (7)地藏院川
 - (8)蟹川
 - (9)菩提仙川
 - (10)高瀬川
 - (11)量川

目次

8.維持管理について

9.その他河川の整備を総合的に行うために必要な事項

10.その他

1.河川整備計画の策定手続きについて

- 現時点で行政として持っている方針、基本計画(事業目的・意義・予算)等を提示して意見を求める方がよい。
- 河川整備計画への意見は、常時受け付けて欲しい。
- 住民との懇談会には県だけでなく国や市からも出てきて欲しい。
- 河川整備委員会の方には流域を全て歩いてもらい、地域の人と議論し、現場を把握して頂きたい。
- 住民意見がどのように反映されるのか示しておく方がよい。
- 自治会へのチラシはもう少し具体的な記述があった方がよい。
- 住民の意見聴取はもっと小さい単位(各河川、流域の自治会単位)できめ細かく回数を重ねて聞いて欲しい。
- 小中学生からも意見を聴いて欲しい。

2.河川整備計画全体について

- 自然・生態環境への影響、及び景観への影響等の課題を、十分に研究・検討・議論されることを望む。
- 他の部局や、市との連携についても盛り込んでほしい。
- 人と自然の共存を念頭に川づくりを検討して欲しい。
- 自然な川の流れを基本にし、ダムや堰を造らず自然の川のままで川を治めることがよい。
- 川は道路と共に都市の顔といわれる。特に河川はその多面性からこれを整備・維持・管理する際は十分意を尽くすことを望む。
- どの河川も同じような目標に聞こえる。

3.洪水による災害発生の防止又は軽減について

- 河川は公園ではない。まず第1に洪水に対し安全にして欲しい。
- 費用対効果を追求し、河川改修・遊水地・水位低下方式によるため池治水を推進し、ダム の流量分担の目標値を下げて欲しい。
- ダム建設ではなく、その事業費を河川改修・流域対策に充当できないか。
- 山間部の森林や田んぼが持つ保水力の保持のため費用を投入するなどの政策も必要と思う。
- 「市街化調整区域の極力保持」、「保水機能の役割を有している森林・緑地等の積極的保持」を推進するため、具体的な数値目標の設定や具体的計画(施工箇所・容量等)が必要と思う。
- 総合的な治水対策のため、住宅の建設を規制する区域を設定するなど、土地利用を考慮する必要があると思う。
- 道路排水に関する対策が必要と思う。
- 透水性舗装の道路など、地下に浸透させる施設を作ることが必要と思う。
- 宅地開発に対しては500m²以下の小規模なものに対しても指導して欲しい。
- 各家庭において取り組める治水対策を政策として考えて欲しい。
- 大規模なものだけでなく、小さな施設をつくり貯留することも重要。
- 浸水対策の手法として一番効果があるのは、佐保川の河床を下げることであると思う。
- 川だけで解決しようとせず治水対策のため、住民の住み方等についても検討が必要と思う。
- 超過洪水時の対応をセットに検討すべきである。
- 総合的な治水対策はどこと連携するのか明記する必要があると思う。
- 浸水のメカニズムを整理し、必要な対策を検討すること。
- ほとんどの河川が10年確率で計画されているにもかかわらず、100年確率で計画されている河川があるのはなぜか。
- なぜ大和川流域は10年確率で計画されており、岩井川は100年確率で計画されているのか。
- 100mm/hrのような異常な降雨も考慮し、治水計画を見直して、すべての河川で50年または100年に一度の洪水を対象とするなど、洪水に対し余裕のある河川整備を検討して欲しい。
- 佐保川の東側の河川で計画が作られているが、浸水被害が生じている西側(量川より南側)についても治水対策を検討して欲しい。

4.河川の適正な利用について

- 灌漑のため、井堰により取水することと、河床を切り下げ洪水をなくすことは相反することであり、調整が必要である。
- 農業用取水堰が多くあり、そういった水利との協調も必要である。
- 水管理に関する行政機関は個別的管理でなく総合的管理を目指すべきである。
- 湯水のように使い切る時代は終わった。水を資源として有効に使う必要があると思う。

5.河川環境の整備と保全

- 施設の整備だけでなく、現在行われている活動や、現存する環境についてどう対応するか記述すべきである。
- 河川それぞれの固有の特徴を活かした風格ある川づくりが必要と思う。
- 各河川の特徴をうまく引き出すことが必要と思う。
- 川はまちづくりと一体的に創られて初めて値打ちが出てくるものである。
- 水質改善が最優先の課題であると思う。
- 河川環境の整備に思想がないと思う。
- 良好な河川環境を築くには歩く人を主眼にして考えるものと思う。
- 整備にあたっては、車に乗って道路を走るスケールでなく、歩いている人のスケールで川を見る必要がある。
- 全ての河川が昔の姿には戻せないと思うので、ある部分について本当に歴史的な奈良の河川であるという印象づけるような川を持つことが必要と思う。

<水がきれいな川づくり>

- 荒池などの池においても水質改善は平城圏域の大きなテーマと思う。
- 川に流れ出すため池の水をきれいにしたい。
- 田んぼに安心して川の水を利用できるようにしたい。
- ところどころよどみや沼地を作ったりヨシを活用するなど、河川の浄化作用を活用した浄化を検討したい。
- 水質浄化のため魚の放流も検討したい。
- 清流復活のために清流魚の放流定着を目指したい。
- 上流に緑を増やすことにより水質改善ができるのではないか。
- ゴミの埋め立て地が山の中にあることも考えて、今後調査を含め検討したい。
- 下水道の整備により川の流量が減ることも考慮すべきと思う。
- 浄化センターで処理した水は大和川の汚濁に影響はないのか。処理水がきれいなら非常によいことだが。
- 下水が河川に流れ込まないようにしたい。
- 下水道が整備されていない地域の浄化槽対策が必要と思う。
- 非点源汚濁源対策が必要と思う。
- 油物は流さない、洗剤は出来るだけ少なくする、といったことを個人個人が考えるべきと思う。
- 従来のデータや一般論だけに頼らず水質改善方策を検討したい。
- 清流復活のために流量を倍増させてほしい。(地下水利用又は奈良東部河川からの導水)
- 水が流れると川らしさがあり環境用水の確保について検討すべきである。
- 下水処理水を北部河川の上流に還元したり、合流式下水道により降った雨を処理場へ送らず、川へ戻すべき。金額的に大変だが検討したい。

<多様な生物が生息できる川づくり>

- 蛍が飛び交い、めだかや川魚が住む川の再生を目指したい。
- 浅瀬と淵を交互に配置し、流速を変化させ清流魚が棲むようにしたい。
- 河川を浚渫する場合、平坦にせず変化を持たせたい。
- 堰の下を滝つぼにしたり、堰の上を掘り下げるなど魚が棲むような淵をつくってほしい。
- 生物の多様化のため、可能な限り自然護岸にしたい。
- 石積み護岸は、昔のような、隙間があり、魚が逃げ込めるものにしてほしい。

<人々が水辺に親しめる川づくり>

- 堤防の一方を車道、他方を歩行者、自転車道にすることにより、ゴミが捨てられなくなると思う。
- 川にはどんな物でも絶対に捨てないよう、徹底的に啓発して欲しい。
- 横断形状は単一でなく、沿川の土地利用を考慮した工夫が必要と思う。
- 市街地部を利用し、親水施設を設けることにより川に目を向ければよいと思う。
- 子どもが「魚とれる」「泳げる」「裸足で入れる」というのが川の姿と思う。
- 大和川上流域は、天井川が少ないので、洪水対策よりも親水性を優先すべきだと思う。
- 河川敷堤防に桜・ツツジの木や花を植えたり、散策する道・水辺の公園などを整備し、市民の親しみやすい緑地、憩いの場となるようにして欲しい。
- 川面に降りられる階段と河道内を渡る飛び石があれば、親水のための目的を十分達することができると思う。
- 親しみやすくするために、裸足で入ってもケガをしない川底にして欲しい。
- 子どもが遊べる環境が必要だと思う。

6.地域と一体となった川づくり

<川について様々な情報の発信>

- 市民参加型行政の第一歩は「情報の共有化」であると思う。単に聞き置くということでは市民自身の理解や意識改革にもつながらない。懇談会の内容や意見はインターネット等で公表していけば、ますます行政と市民のパートナーシップを築くことができると思う。
- 他の自治体の成功事例は積極的に取り入れ、市民に周知して欲しい。
- 洪水時の安全対策について家庭で考えられるように情報を出していくべきである。
- 出水時の安全のため、住民の住み方についても河川管理者として方向付けが必要である。
- 浸水地域の公表すべき時代であると思う。

<住民参加型川づくり>

- 住民に清掃してもらいたいではなく、何らかの活動の場として利用できる場を増やすべき。
- 清掃活動に対する補助のようなもの配布して欲しい。
- 川に沿った町の人々に、賃金を払って清掃をしてもらおうようにして欲しい。
- 河川巡視員(ボランティア)を公募して増員してはどうか。(ゴミ投棄や汚水流入の見回りなど)
- 市民が気軽にボランティアで参加できるようにして欲しい。
- 今後は可能な限り市民の自立・自助意識を育て、それを公共施設の維持管理等へ活用していくことが重要であると思う。
- 散歩コースや公園、そして季節を感じさせる樹木がある河川敷。そんなすてきな川が奈良にあれば皆がその川を守っていくことができると思う。
- 子ども達に「川を見なさい」ではなく、自然に川に触れられるようにあればと思う。
- 子ども達が川で学ぶ目的は、子ども達が川を楽しみながら安全・安心、生き物や風景を学ぶことが目的であると思う。

7.各河川の目標等について

(1)佐保川

- 近年の気象条件、周辺の宅地開発状況を勘案した計画にして欲しい。
- 佐保川は豊かな森林による緑のダムが相応しく、世界遺産春日山のそばで現在検討されている佐保川ダムは問題が多く慎重にすべきである。
- 佐保川の支川吉城川の浸水被害軽減のため、佐保川の河床切り下げや吉城川に危険水位標識を設置して欲しい。
- 上流部の産業廃棄物処分場からの流入水の対策を検討して欲しい。
- 下水が佐保川に流れ込まないようにして欲しい。
- 河川内のヨシ等の植物は、水質浄化に役立っているので、刈り取りは慎重にして欲しい。
- できるだけコンクリートのない、自然豊かな川に復元して欲しい。
- 佐保川の貴重な自然・生態環境を大切にし、蛍が舞い飛び、水生生物が豊かで覗くだけでわくわくするような川にして欲しい。
- 桜並木を充実し、佐保川を中心とした憩いの場として全国的な名所にして欲しい。
- 「水辺の楽校」をもう少し子供もお年寄りも水辺で楽しめるよう整備して欲しい。
- 佐保川沿いに水辺に親しむ河川公園をつくって欲しい。
- 管理用通路は車を通さず遊歩道としての機能を保持して欲しい。
- 佐保川兩岸の土地の買い上げ、開発から自然を守って欲しい。
- 桜並木と若草山を含めた景観を大切にしたい。

(2)菰川

- 上流の方は大変汚いので暗渠にして欲しい。
- 菰川に自然を戻す様な整備をして欲しい。

(3)菩提川

- 汚水対策、水量対策等をして欲しい。

(4)岩井川

- なぜ、岩井川だけが100年に1度の洪水を安全に流下させる必要があるのか。
- 他の河川と同様に10年確率規模にするためにダムは必要なのか。
- ダム建設による費用対効果はどうか。10年確率で費用対効果は得られるのか。
- 世界遺産のバッファゾーンに位置する岩井川ダムの建設を中止し、その事業費を河川改修を含む総合治水に充当して欲しい。
- 岩井川ダム建設に伴い、下流の整備(汚濁対策、堤防対策等)が必要と思う。
- 岩井川沿いで「水辺の楽校」の整備をして欲しい。
- 岩井川の歴史の連続性を考慮すべきである。
- ダムの下流部の環境が守られることが非常に重要でありこの点で岩井川ダムは評価できる。
- 流水だけでなく土砂についても管理が出来ればと思う。
- 岩井川の遊水地案は、遺跡があり実現性がない。
- 今回の説明でダムの効果が非常によく分かった。
- ほとんどの河川が10年確率で計画されているにもかかわらず、100年確率で計画されている河川があるのはなぜか。
- なぜ大和川流域は10年確率で計画されており、岩井川は100年確率で計画されているのか。

(5)能登川

- 汚濁対策が必要と思う。
- 景観に配慮した河川改修が必要と思う。
- 住民意見を反映した川づくりを具体的に進めて欲しい。

(6)秋篠川

- 平城京の真ん中を通り、唐招提寺や薬師寺の世界遺産を周辺に抱えていることを踏まえ、そういった雰囲気や伝わるような整備が必要である。
- 保水機能保全の観点から、民間へ売却が危惧されている国有林を買い上げて欲しい。
- 河川整備にあたっては、水利組合との調整が必要と思う。
- 秋篠川の水質は環境基準に達しておらず、水質改善対策が必要と思う。
- 景観に配慮した河川整備を進めて欲しい。
- 歩道を整備して欲しい。
- 個人が勝手に河川を占用するのを是正して欲しい。
- 余裕高を大きくとって欲しい。

(7)地蔵院川

- 河川改修を至急進め、上流部の浸水対策として遊水地を設置して欲しい。
- 堤防敷の歩道化や汚濁対策が必要と思う。
- 改修にあわせて、井堰の改築をお願いした。

(8)蟹川

- 河川改修を促進すると共に、上流部での遊水地を緊急的に検討して欲しい。
- 上流の浸水被害解消のため、秋篠川にポンプアップさせて欲しい。

(9)菩提仙川

- 計画の施工区間より上流部において浸水が生じているので対策を検討して欲しい。

(10)高瀬川

- 下流の土砂取りをして欲しい。
- 名阪国道が出来て、水がよく出るようになった。
- JR橋梁付近の浸水対策を検討して欲しい。

(11)量川

- 原案の文章は抽象的であり、何をするのかよくわかりにくい。
堤防は崩れていないが早急に治水計画をたてて欲しい。

8.維持管理について

- 堆積土砂の除去や草刈りなどを定期的な巡回のもとで管理して欲しい。
- 堤防のり面にはびこる雑草は人を寄せ付けず、不安を与えるので手入れをして欲しい。

9.その他河川の整備を総合的に行うために必要な事項

<出水時における情報連絡体制の強化>

- 出水による被害の軽減対策のため県が持っているデータで50mmの降雨により浸水被害が生じる区域をインターネットなどで公表して欲しい。

<水量・水質の把握>

- 総合的水管理のため水量管理、水質管理、環境管理を検討して欲しい。

<その他>

- 県の河川課だけが治水対策を進めるのではなく、住宅部局による宅地開発の指導や森林部局による森林の保全及び道路部局による透水性舗装等、関連している部局との連携が必要と思う。
- 県管理区間だけでなく国や市が管理する区間についても連携した治水対策を検討して欲しい。

10.その他

- 開発者に対する「治水税」や下水道未接続者に対する「廃水税」等税制を検討すべきと思う。
- 民有地の庭内に、新たに一定規模の池を設置する個人および法人に対しては、
県税の一定割合を還付する制度の創設を望む。
- 一級河川の事務を「自治事務」とすることを望む。